

1/40スケール・RCデラックスタグボート
1/40SCALE・RC DELUXE TUGBOAT

HERCULES ヘラクレス



組立説明書

株式会社斎藤製作所
千葉県市川市稻荷木3-22-7

TEL: 047-378-4156 FAX: 047-378-4155
<http://www.saito-mfg.com>

この度はタグポート、ヘラクレスをお買上げ頂きありがとうございます。

製作にあたり、次の工具、接着剤を用意すると便利です。

工具 目の細かいノコギリ、小さなカンナ(バルサカシナ等)、ラジオペンチ、ニッパー、ヘヤードライヤー、半田ごて、ピンセット、リューター(小さい電気ドリルセット)、ヤスリ(平巾10ミリ位、丸3ミリ、8ミリ位)、サンドペーパー240番、80番、コンパス、ヒートンネジ込み用 6×200 ミリ先端に金キリノコで深さ5ミリ位ミグを入れた棒等

接着剤 ① シアノ系瞬間接着剤 約15g

濃いめと薄めがありますが、薄めがよいです。少量、接触面をできるだけ平らにすることがこつです。量を多くつけすぎた場合は布でふきとって下さい。この時、促進剤を使用しますと瞬間に接着します。現在、20g入が約1,000円で模型店で市販されています。ハウスなどベニヤの仮止めには威力を発揮します。工作スピードが驚異的に早くできます。

② 5分間型エポキシ接着剤 約70g

これも接着にはヘヤードライヤーを使用し、針金等で誘導しますと、量も少なく、きれいによく接着します。接着スピードも早いです。もりつけの時はヘヤードライヤーは使用しません。

③ 30分間型エポキシ接着剤

船体と甲板接着に使用します。この場合はヘヤードライヤーは使用しません。

冬は周囲温度が20℃以上が良好です。

塗 料

(吹き付け)

(はけ塗り)

白	1/5 l	緑
緑	1/5 l	マホガニー
黄	少 量	プラカラー
黒	1/5 l	グレー
赤	少 量	黒 鉄
青	"	カシュー(商品名)クリヤー、及内部塗装用 カシューM51(化粧甲板、ドア、塗装用)

リターダー

ラッカープライマー

ラッカーサフェーザー 500g

バテ 少量

シンナー 2ℓ

水ペーパー 400番 3枚、 800番 1枚

サンドペーパー

3Tシナベニヤ、ダイカット部品は部品番号の印の方を裏側に使用して下さい。

1. 甲板と船体の取付け

船体を接着する時は必ずペーパー等で一皮とって下さい。次にラダー取付部、スタンチューブ取付穴、船体側面排水口等加工して置きます。次にエンジンベット④を②でたっぷりつけて接着します。スタンチューブの前後メタルはシャフトを通し、軽く回るところでハンダ又は①で接着します。スタンチューブはエンジンベットにエンジンを仮止めして、ジョイント、シャフトが軽く回るようにして①で仮止めし、②でたっぷりつけて接着します。次に甲板⑤裏面にクリヤラッカーを3回塗って防水します。船体に4mm角③をクランプし、ハウス⑩の下面カーブに合わせます。このことは後で、組立てた時、甲板面とハウス下面のカーブを合わせるためにです。位置が決ったら①で仮止めします。次に甲板⑤を③で接着します。この時⑤が浮き上がらないよう、介もので上を押え、ガムテープで押えます。次に⑥を②で接着、⑨は①で接着します。（⑦を張ってから付けます。）船体⑧を前後のカーブの所は遠火で船体に合わせながら曲げて置きます。最初、船首、船尾のカーブだけ切断して①で接着し、中間を接着します。船体に②を①で接着、⑧と同じ要領でして下さい。ラダーは⑤と⑦を②で接着し、⑨を図のように曲げ①で接着、虫ピンをニッパーで切り、左右にずらし、打込みます。①を塗って下さい。ラダーはクリヤラッカーを2回塗りペーパー400番で仕上げ、サフェイサーを2回塗り、水ペーパー800番で仕上げて置きます。次にラダーを船体に取付け⑤にはいるところは薄くマシン油又はミシン油を塗つて取付け、⑨は①で接着します。

2. ブリッジハウス

各部表面はサンドペーパーで仕上げ、各部修正して①で仮止めしながら組立てると早く便利です。組立てましたら、裏面より②で各合わせ目を充分つけて下さい。

3. 塗装

船体は外部の傷等、水ペーパー400番で充分ペーパーをかけます。甲板上は紙テープ

等でマスキングします。外側全体にラッカープライマーを2回、次にサフェーサーを3回塗ります。1回毎に良く乾燥してから、水ペーパーをかけ、へこみはパテで埋めます。次に図面参照の上、吃水線の所に紙テープを張り、黒ラッカーを3~4回塗ります。次に上部をカバーして水線下を船底色(赤+黒0.5%)で塗って下さい。(②)は白色で上下より、紙テープでマスキングして塗ります。プラスチック部品はプラカラーで塗って下さい。ブリッジハウスは最初クリヤーを1回塗り、この時マストの木地のところはマスキングして置きます。次にサフェーサーを2回塗り、へこみ、傷等はパテで修正し、サフェーサーを1回塗り、水ペーパー800番で仕上げ、ブリッジ上部、煙突等を黒で塗り、ブリッジの縁より8mmの所でマスキングします。煙突中間の白色部だけを残し、マスキングします。白色で仕上げて下さい。(⑩)(⑪)この後[1]で接着します。化粧甲板の張り方は周囲を張り次に中央を張り、中央より左右周囲に向け[1]で接着します。化粧甲板、ドアはカシュー651で塗ります。(⑫)⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳~㉑⑳~㉑⑳~㉑⑳~㉑等、アクセサリーは、それぞれ塗装仕上げしたもの#[1]で接着します。マスト系、各張線の先#[1]をつけ、結び目をカタン糸で結え[1]で固める。(⑳)はペンチ等で押込みます。(㉑)は[1]で接着します。(㉒)㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉛等はプラカラー、黒鉄色。(㉑)㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉛はマホガニー、コンパスは面を除いて、黒、後部マスト上部は黒。(ラッカーをかけ塗りする時はシンナで薄めずに、リターダーを約1/5入れるとラッカーが、すぐ乾燥しないで、きれいに塗れます、ラッカーの濃度により薄め方は加減して下さい。) 船体内部は刷毛でカシュー(好きな色)を塗って下さい。

4. スチーム配管

各部を図に従って配管する。

5. R.O.メカ

各部を参照して下さい。サーボモーターは各社の寸法により取付けて下さい。リバースを取付ける時は、プールで正回転になります。ラダーの舵角は出来るだけ大きく取って下さい。サーボ、バッテリー、レシーバー等は充分防水対策をして下さい。

バラスト、鉛等で吃水線に合わせ前後のバラソスを取って下さい。(図面の吃水線迄、バラストで必ず合わせて下さい。吃水が浅いと転覆、沈没する恐れがあります。)

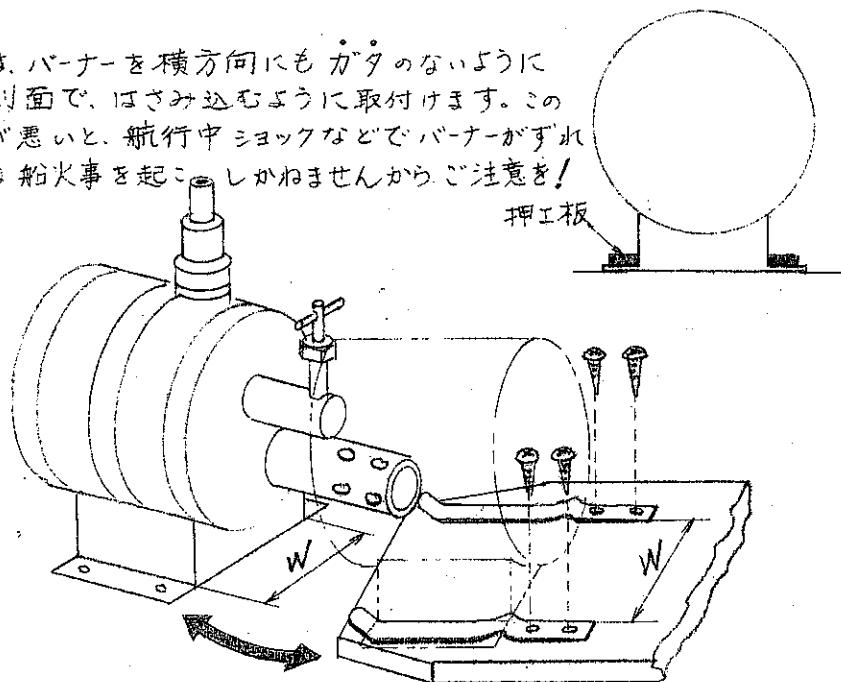
6. 走航

地上でテストを充分にして、バーナーが完全に燃焼するか、消えるか、又バックファイバーはニードルバルブを開け過ぎるとなりますから、ニードルバルブで調節して下さい。キャビンをかぶせ、バーナーが正常に作動していること。（この時、冷却ファンを回す）また、燃焼時間を確認して下さい。

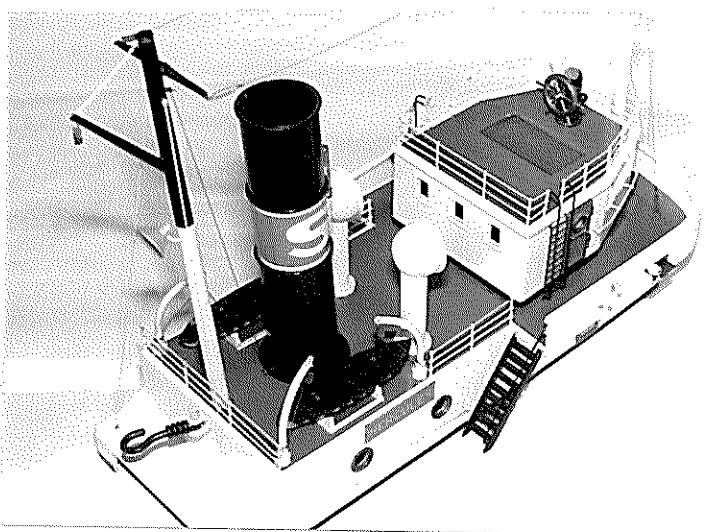
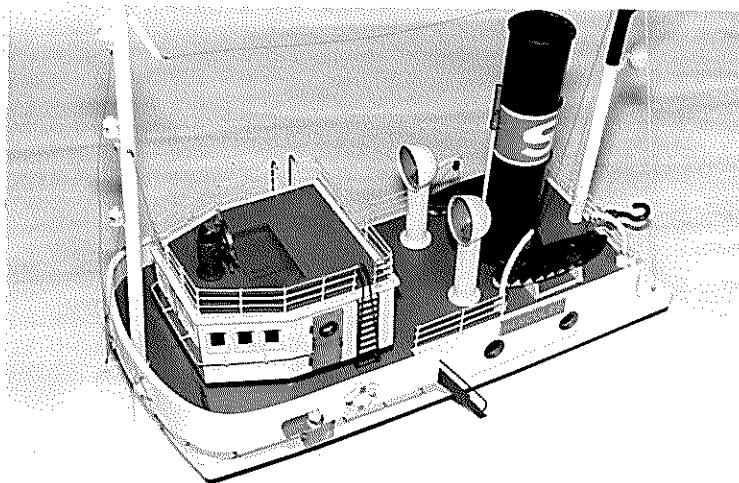
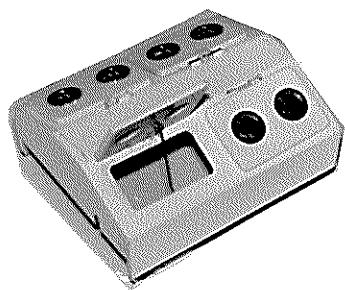
船体内部は以外に熱に強いですが、内部塗装にエンビはよくありません。特別の防熱対策はいりません。接岸などで激突は避けて下さい。では安全な航海を祈ります。

※ セット中のプライマー（Bのピン）はABSを他の材料に接着する場合に使用する前処理剤です。（接着剤ではありません）。ABS材を接着する場合、筆等でABS側に塗り20分以内にエポキシ系接着剤で接着します。蒸発力及び引火性が強いですから火気等に充分気をつけて下さい。尚、1で接着する時はプライマーはいりません。

※ 押工板は、バーナーを横方向にもガタのないように
押工板の側面で、はさみ込むように取付けます。この
取付け方が悪いと、航行中ショックなどでバーナーがずれ
て、思わぬ船火事を起こしかねませんからご注意を！

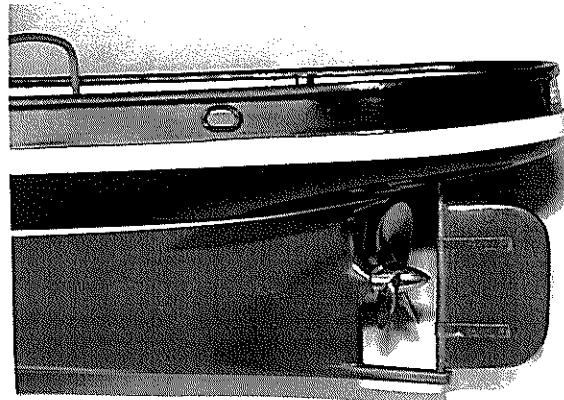


各キャビンの完成。





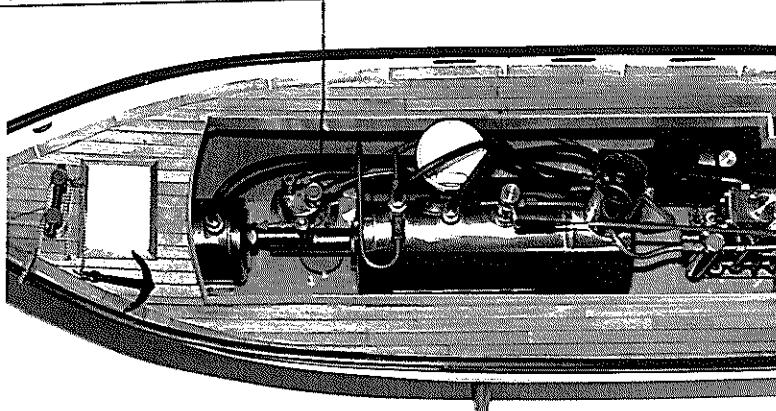
12 φ穴アケ



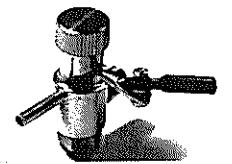
Vギュレーへの
接続リンクは
上図の物から
下図のボーリング
に変更になりました。



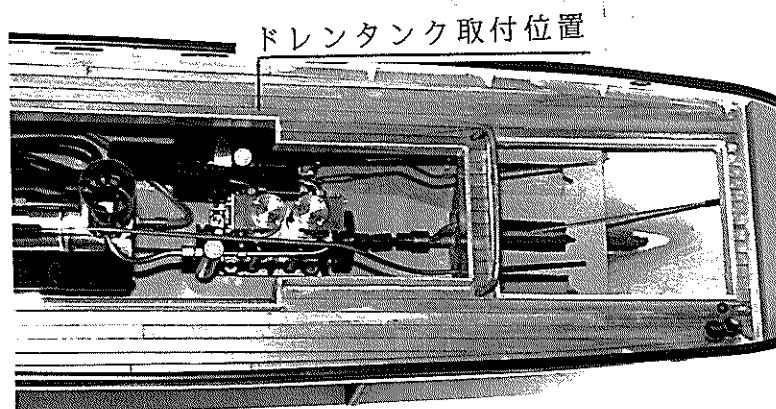
発煙タンク取付位置



発煙タンクは写真の位置に
ネジ止めします。

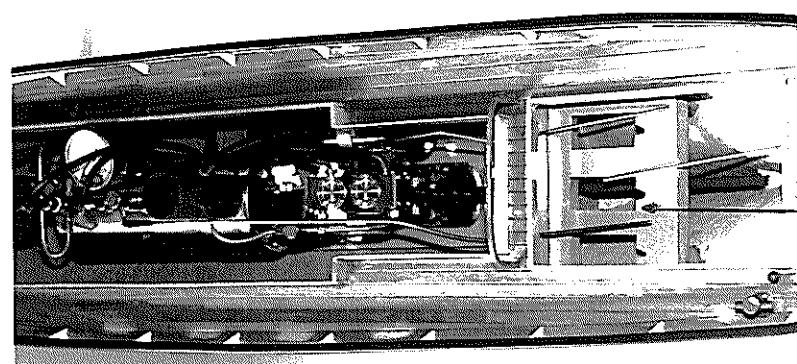


ドレンタンク取付位置



ドレンタンクは写真の位置に
ネジ止めします。

エンジンバースレバーへの接続は
上図の物より下図のボーリングに
変更となりました。



サーボ取付穴はサポーに
合せて加工して下さい。



スチームエンジン付ヘラクレスの取扱には

下記事項を充分守って下さい。

- ☆ アルコール入りの容器はバーナーにアルコールを注入後は必ず蓋をしてバーナーの近くに置かないで、離れた場所に置いて下さい。
- ☆ 運転中は、エンジン、ボイラー、バーナー、煙突を上から見ないで下さい。ボイラーの安全弁と、エンジンの排気関係からスチームが、又煙突からは熱気が出ますので注意して下さい。
- ☆ 運転終了後でもボイラー、バーナー、エンジンは熱いので、さめる迄触れないで下さい。
- ☆ スクリューが回転している時には絶対に手を触れないで下さい。
- ☆ エンジンが始動しないときに、スクリューを手で回して始動することは大変危険ですからやめて下さい。
- ☆ ボイラー及びバーナーを他の目的の為に使用した時、または変則的に取り付けて発生した事故は責任を負いません。
- ☆ 走航中に衝突等もありますから充分に気を付けて下さい。

RC DELUXE TUGBOAT
HERCULES

SAITO



Die-cut plywood parts number list Wishing : Please number each part by this list prior to detaching it from the plywood. When assembling, use the back where it is unnumbered.

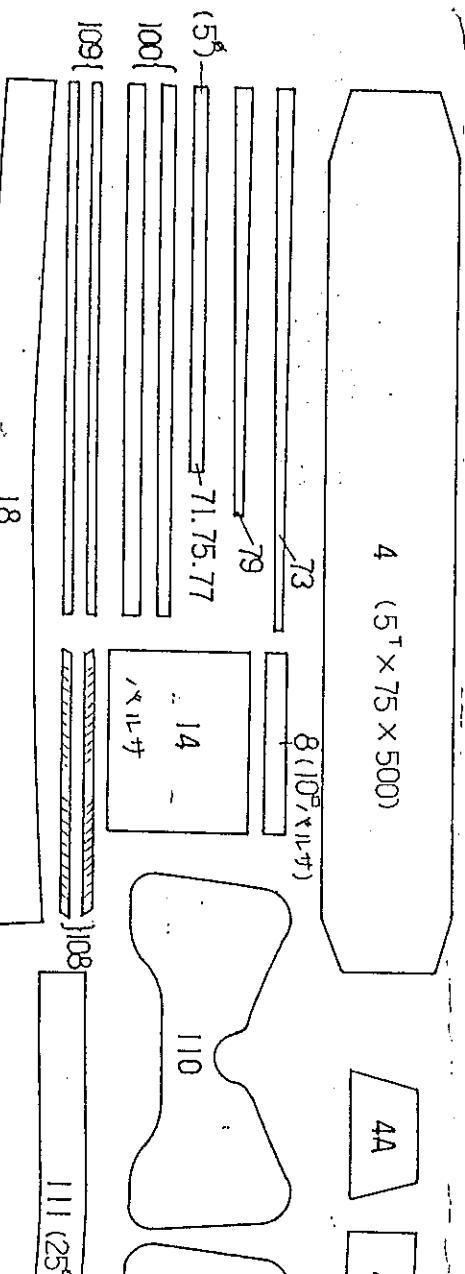
ヘラクレス 木製部品番号表

NO.2

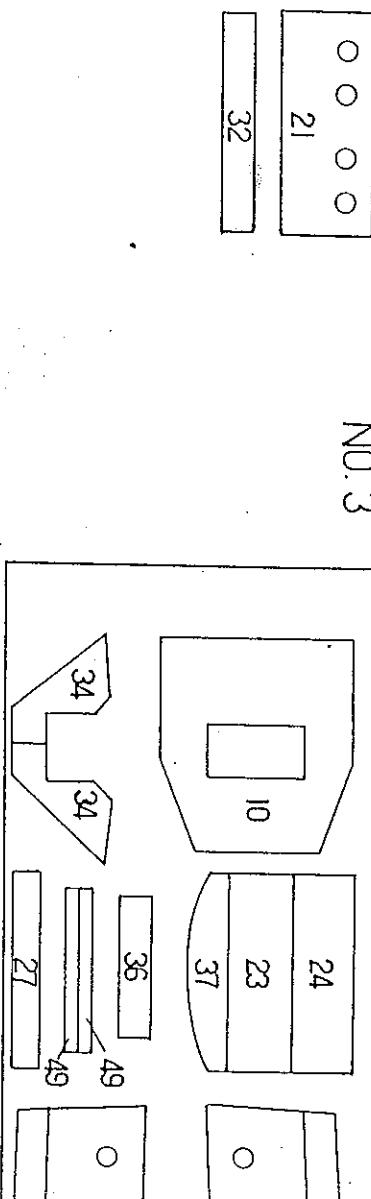
お客様にお願い

部品を打ち抜く前に、この部品番号表により、各部品に番号を記入して下さい。
組立の時は、部品番号を記入した面をうち側にして下さい。

NO.1



NO.3



NO.4

